

令和4年10月3日

関係機関・団体の長 様

新潟県病虫害防除所長

新潟県病虫害発生予察情報・予報第8号の送付について

このことについて、別添のとおり発表しましたので、送付します。

なお、この情報は、「新潟県病虫害防除所」のホームページでも閲覧できますので、適宜御活用ください。

新潟県病虫害防除所業務課

電 話 : 0258-35-0867

F A X : 0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

令和4年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第8号
(10月の発生予想)

令和4年10月3日

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度： 発生時期：平年比	予報の根拠
---------------	--------------------------------------	-------

【かき】

円星落葉病	量：やや少ない	① 9月下旬現在、発生量は平年比やや少ない。(－)
すす点病	量：並 程度：少発生 (発病葉率1～10%)	② 9月下旬現在、発生量は平年並。(±) ③ 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
果樹カメムシ類	量：並 程度：少発生 (発病果率1～2%)	① 9月下旬現在、発生量は平年比やや少ない。(－) ② 予察灯等の誘殺数は地域により平年並～やや多い。(±～＋) ③ 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～＋)

【夏秋きゅうり】

べと病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病葉率1～25%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～－)降水量はほぼ平年並み(±)と予想されている。
うどんこ病	量：並 程度：多発生 (発病葉率51～75%)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～＋)降水量はほぼ平年並み(±)と予想されている。
褐斑病	量：並 程度：少発生 (発病葉率1～5%)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
コナジラミ類	量：やや多い 程度：少発生 (成虫寄生葉率1～30%)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～＋)
アザミウマ類	量：並 程度：少発生 (寄生葉率1～5%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～＋)
ハモグリバエ類	量：やや多い 程度：少発生 (被害株率1～25%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～＋)
ワタヘリクロノメイガ (ウリノメイガ)	量：並 程度：少発生 (寄生株率1～20%)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～＋)

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量： 平年比 発生程度： 発生時期： 平年比	予報の根拠
---------------	--	-------

【秋冬だいこん】

べと病	量： 並 程度： 少発生 (発病度 1～15)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～-)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
黒斑細菌病	量： 並 程度： 少発生 (発病度 1～15)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
白さび病	量： やや少ない 程度： 少発生 (発病株率 1～20%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～-)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
アブラムシ類	量： 並 程度： 少発生 (発生程度指数 1～50)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
コナガ	量： 並～やや多い 程度： 少発生 (寄生株率 1～10%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年比やや少ない。(－) ② フェロモントラップの誘殺数は、平年並～多い。(±～+) ③ 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
オオタバコガ	量： 並 程度： 少発生 (寄生株率 1～20%)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② フェロモントラップの誘殺数は新潟地域で平年比多く(+)、中越地域で平年比やや少ない(－)。 ③ 向こう1か月の気温は平年並か高い(±～+)と予想されている。

【秋冬ねぎ】

さび病	量： 並 程度： 少発生 (発病度 1～5)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～-)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
黒斑病・葉枯病	量： やや少ない 程度： 少発生 (発病度 1～20)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
軟腐病	量： 並 程度： 少発生 (発病株率 1～5%)	① 9月下旬の発生量は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高く(±～+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
ネギハモグリバエ	量： 並 程度： 少発生 (被害度 1～10)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～+)
ネギアザミウマ	量： 並 程度： 甚発生 (被害度 31以上)	① 9月下旬の被害発生量は平年比やや少ないが、甚発生のおも場も見られる。(－～±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±～+)
<p>【防除上の留意事項】</p> <p>・収穫が近く発生が多い場合は、収穫30日前頃から7～10日間隔で3～4回薬剤散布する。なお、薬剤選定の際は使用基準の収穫前日数に注意する。</p>		

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度： 発生時期：平年比	予報の根拠
---------------	--------------------------------------	-------

【秋冬ねぎ】つづき

シロイチモジヨトウ	量：並 程度：中発生 (被害株率 11~20%)	① 9月下旬の被害発生量は平年並。(±) ② フェロモントラップ誘殺数は平年並。(±) ③ 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±~+)
-----------	--------------------------------	--

【その他】

【野菜・花き類全般】 オオタバコガ	量：並~多い	① フェロモントラップの誘殺数は、新潟地域で平年並~多く(±~+)、中越地域で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±~+)
【果樹・野菜・花き類全般】 ハスモンヨトウ	量：並	① フェロモントラップの誘殺数は、平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されている。(±~+)

～ 防除上の注意事項は、最新の「新潟県農作物病害虫雑草防除指針」を参照してください ～

注1：①「予報内容」の発生量は、予想される発生量が、新潟県における平年の発生量に比べて多
いか少ないかを、少、やや少、並、やや多、多の5段階で表記しています。

②発生程度は、予想される発生量が、国の調査実施基準等で定められている、無発生、少発
生、中発生、多発生、甚発生のいずれに該当するかを表記しています。

注2： 「予報の根拠」の、(+)は発生量を増加させる要因、(-)は発生量を減少させる要因、
(±)はどちらともいえない要因を示しています。

～ 農薬は適正に使用しましょう ～

- 農薬の準備・使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認しましょう。
- 使用に際しては、ラベルに記載の使用基準や注意事項をよく読み、使用者が責任を持って使
きましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。周辺作物や住宅及びミツバチ等への危害防止のため、周辺の
生産者や住民、養蜂業者に事前に防除計画を通知するなどの対策をとりましょう。
- 農薬の使用後は防除日誌や作業日誌等の記帳に努めましょう。
- 水田で湛水して農薬を散布する場合は、処理後7日間の止水を厳守し、落水しないようにしま
しょう。

新潟県病害虫防除所業務課

電 話：0258-35-0867

F A X：0258-35-7445

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bojo/>

【参考】北陸地方 1か月予報（10月1日から10月30日までの天候見通し）
 （新潟地方气象台：令和4年9月29日発表）

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は気温の変動が大きく、2週目は気温がかなり低くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。

2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気 温	20	40	40
降 水 量	30	30	40
日照時間	40	30	30

<気温経過の各階級の確率（%）>

	低い	平年並	高い
1週目（10月1日～10月7日）	20	30	50
2週目（10月8日～10月14日）	40	40	20
3～4週目（10月15日～10月28日）	20	30	50